

馬電菱の実会だより (No. 44)

恒例の秋の一泊旅行は

越後の国「鶴の浜温泉」と柏崎刈羽原子力発電所見学を実施

11回目を迎えた菱の実会の今年のバス旅行は、11月13日(水)14日(木)の2日間に渡って日本海側の新潟県「鶴の浜温泉」と東京電力の柏崎刈羽原子力発電所の見学を行いました。なお労組から森田委員長、会社から勤労課佐藤さんにも参加いただき、会員と合わせ合計38名にぎやかなバス旅行になりました。

しかも退職後20年以上経過した会員から、今年9月定年のほうやはやの会員までと幅広く参加いただきました。だから宿泊した「鶴の浜ニューホテル」での夜の懇親会では、昔の仕事や仲間のこと、最近の自分の健康や家族のことなど、お互いに積もる話の輪が広がったり、また自慢ののどを披露してくれる人など楽しい一夜を過ごしました。

また今回の旅行のもうひとつの目玉はやはり柏崎刈羽原子力発電所の見学だったでしょうか。2日目の午前9時から12時までみっちり3時間の見学でした。

広大な敷地に1週間前に稼働し始めた原発を含め6基の原発が稼働中（建設中の原発も含めると7基）、そして私たちはその中の4号機（出力110万Kw）を見学しました。

原子炉や発電機などの大きさに驚くとともに装置の運転や安全性に大変な努力を払っていることがよくわかりましたし、私たちの日常生活においても、有限の資源を大切に使うために、節約できることはもっと節約しなければならないことがよくわかりました。

こうして今回の旅行も有意義に、そしてお互いの親睦をさらに深める旅行となりました。また来年の旅行での再会を約しそれぞれ帰途につきました。

